



道祖神とは…

日本に古来からあった、生産、生殖の神として、五穀豊穡や子孫繁栄、縁結びの願いをかけたものといわれます。また、旅人の安全を願ったり村に悪いものが入るのをさへぎる護りの神ともいわれます。

二十三夜塔とは…

月齢23の月の日(二十三夜)に「講」(集い)を組織した人々が集まって、月の出を待つ月行事「月待」にまつわる塔。

大黒天とは…

福を授ける神として信仰される七福神のひとつ。甲子の日に皆が集まって福の来ことを祈願しました。(甲子講)

庚申塔とは…

庚申信仰に基づいて建てられた石塔のこと。庚申の日、寝ている間に体内にいる「さんしの虫」が天帝に悪事の報告をするのを防ぐため、夜通し眠らず集団でにぎやかに過ごす信仰。

馬頭観世音とは…

観世音菩薩の化身で、煩惱や悪心を断つ功德があるといわれます。馬頭ということからか、馬の神様として崇められ、馬が死ぬと供養のために石造や文字塔が建てられたり、運送業者や馬持仲間が馬の無病息災を願ってこれを作りました。

塩の道 道祖神とは…

新潟県糸魚川まで続く「塩の道」であった千国街道には、沢山の道祖神が祀られていました。その後、過疎化が進んで取り残されてしまった街道沿いの道祖神は、由緒深い穂高神社へと移され、現在は「塩の道 道祖神」として10体ほど祀られています。

